

6月24日臨時本会議開催

「イージス・アショア新屋配備計画反対」の請願採択! 全会一致で配備撤回を求める意見書提出



(※全員賛成だったため、すわったままの簡易採決となった。)

2017年11月、地元紙が“イージス・アショア新屋配備予定候補地”と報道。その年の12月議会から今年の6月議会までの2年半、私たちは一般質問・総括審査・総務企画委員会ですべての問題を取り上げてきました。

昨年の参院選ではイージス配備反対を訴えた寺田静さんが初当選を果たしました。請願書も町内会や諸団体から20本、さらには今年に入ってから42,500筆を超える請願署名が提出されました。にもかかわらず最大会派の自民党は防衛省の調査結果に固執し、判断を先延ばししていたのです。しかし6月議会は河野防衛大臣の発言から大きく動きました。6月24日朝「国家安全保障会議」が開催されるとの報道を受け、急きょ当日の日程を変更、臨時本会議を開催し、全会一致ですべての請願を採択。国に対し「新屋演習場を含む現行のイージス・アショア配備計画について白紙撤回を求める意見書」を提出することができました。

今後、この2年半の総括をし調査報告書の公開を求めていきたいと思っています。

政党や会派が違って私たち県議会議員が真っ先に考えなければならないこと、それは県民の命と暮らしです。その命と暮らしを守る為に今このコロナ禍で最優先すべきことは軍備増強ではありません。これからも子どもたちに平和な未来を手渡すため、皆さんとともにがんばります。

イージス配備撤回!

住民の粘り強い訴えが
防衛政策を変えました。
これからも、皆さんとともに、
がんばります。



新型コロナウイルス感染症対策について

一日当たりの検査可能件数は
8月末には
300件以上となります。

※内訳

県環境センター	現在60	今後プラスα
秋田市保健所	現在10	今後プラスα
総合保健事業団	現在30	
秋田大学医学部	現在100	今後プラスα
全自動検査装置(県北・県央・県南に各1台)	8月末までに設置予定	
	1回(10件)×3か所×3~4回可能	(短時間で処理)

《世田谷区の取り組み紹介》

保坂世田谷区長は7月28日のBS-TBS報道1930に中継出演し、「誰でも、どこでも、何度でも、PCR検査を受けられる世田谷モデル」を独自検討していることが紹介されました。具体的には人と接する特定の職業(病院、介護施設、学校、美容院、スポーツジムなど)の従事者に対し症状の有無にかかわらず、一定期間ごとに検査を行い、罹患者について速やかに隔離・治療を行うことで、安心して仕事ができる、サービスを受けられるようにするというものです。

Gotoキャンペーンよりも先に、国がやるべきことは検査を拡充する制度を作ることです。それが国民の一番の願いではないでしょうか。

《社民党会派の取り組み》

8月3日、知事に対し「お盆の帰省者へのPCR検査助成」と「新型コロナウイルス入院した場合の患者家族(障がい者、高齢者の介護、ひとり親家庭の子ども、ペット等)支援」について要望書を提出しました。

●軽症者用宿泊施設「ルポールみずほ」



入口

入所者が通るラインは床にオレンジのシートが貼られています。



一人用の部屋のほか、ツインの家族部屋もあります。電話機やテレビは全て透明なフィルムで覆われています。現在は16床ですが今後69床を確保する計画です。



既に4人のスタッフ(看護師3名、保健師1名)が常駐し、受け入れ時の訓練をしていました。「まずは、マスク、手洗い等自己防衛をしっかりと行ってください。もしも感染した場合、ここで安心して過ごしていただけるよう、万全を期しています。」とのこと。